

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H29.12.6 渡辺秀雄

1. 日時 平成 29 年 11 月 27 日（月）午後 6 時 30 分～午後 8 時 12 分
2. 場所 荒井地区公民館 和室
3. 出席議員 橋本善壽、川名順子、伊藤隆一、國分義之、渡辺秀雄（5 名）
4. 出席市民 13 名
5. 会議経過

【午後 6 時 30 分開会】

- ◇ 橋本議員 開会宣言
- ◇ 川名議員 挨拶

（出席議員自己紹介）

【報告】

- ◇ 伊藤議員

平成 28 年 12 月よりの定例会、臨時会の議案の議決状況、改選による議会構成等を「議会だより」第 46 号～第 50 号を基に報告を行った。

会派等の政務活動費の平成 28 年度の用途及び平成 29 年度の交付状況について、「議会だより」第 48 号を基に報告を行った。

前回の意見交換会の意見等の内容、処理状況について、「議会だより」第 47 号を基に報告を行った。

《報告に対する質疑 要旨》

問（市民）

議会だより 50 号で、追加検査の基準変更の理由について質問されいろいろ書いてあるが、100 Bq以下のものはあっても出荷するということなのか。書かれている趣旨が分からない。

答 橋本議員

今までは 100 Bq以上のものは出荷制限し、再検査していた。100 Bq以上のものは市でも県でもなくなってきた。今後安全安心のため全袋検査の継続等を検討するため、追加検査の基準を 100 Bq以上から 25～50 Bqを検出したものに変更し下げることである。

答 伊藤議員

補足説明：県のアンケートの結果、様々な意見が出ている。全袋検査につ

いては関東では分かっていたが、関西ではよく周知されていない業者が多い。国の方では徐々に減らして行きたいらしい。県としては検査の現状と安全性を確保するため、継続して実施することが必要とされており、今のところ国も続けて行くとしている。

答 國分議員

補足説明：私がした質問である。8月に地域農業再生協議会から、25～50 Bqを検出したものを追加検査する旨の通知がきた。内容がよく分からなかったので質問した。25～50 Bqを検出したものは出荷させないで県の方でカリの散布とか調査するということである。

【意見交換】

《意見交換会 要旨》

問（市民）

10年後の本宮市の将来像についてということに興味があったので出席した。定住政策、10年後の市の人口はどのような方向に行くのか。

老人施設、待機者が300人いるとか聞くと、その辺の状況は。また費用はどの位必要なのか。

上ノ橋の完成はいつなのか。

答 橋本議員

定住促進のため助成制度等を設けて今微増の状態であるが、減少してきている。国全体の流れとしてどうしようもない。10年後にむけどうすれば増やしていけるか、意見を聞くことが今回の交換会の目的でもある。

上ノ橋については、平成30年度完成予定である。平成31、32年度で現在の橋を撤去ということになっている。今年度中に完成予定だったが入札不調続きで計画が遅れている。

答 川名議員

介護保険制度が理解され利用者が多くなってきているのと、さらに施設を増やすことは利用者が増えることになり、介護保険料の負担増につながるということになっている。

どこの施設も待機者が多いということだが、重複して申し込んでいるので、在宅介護を受けて待っていれば入所出来るのかなと思われる。費用は自分の年金だけでは足りない人が多く大変である。市でも介護を受けるようにならないよういろんな施策を行っている。町内会単位でもふれあいサロンで体操や健康講座などを行っている。

今年から高齢者で運転免許返納された人に5万円分のイクタンタクシー、巡回バス等の利用券を交付している。

問（市民）

議会だよりの中で、市長への総括質疑として五百川駅周辺の開発について載っていたが、駅前他にも道の駅構想の話も出ていますか現実性はどうか。

答 橋本議員

五百川駅周辺の開発については昨年から検討に入った。今年度、五百川駅前広場整備検討委員会が設置されている。駅前広場ばかりでなく駅周辺の開発についても多くの議員が提言して来ている。

答 渡辺議員

現在五百川駅前広場整備検討委員会が設置されているが、県のへそのまちの話もあったが、インターチェンジの前が未開発のまま 30 年近くも経っている。開発の検討をすべきではないかという意見が議員から出ているが、農振除外等の課題があり企業等の進出等がはっきりしない時点では難しいとのことである。インター周辺を含めたエリアでは大きな計画になり、現在混雑している駅前広場の整備を優先的に進め、インター周辺はその後に検討して行こうという段階である。

答 橋本議員

本宮駅東西自由通路等の整備が済んだ後の平成 33 年度から着手出来るように、9 月議会で五百川駅前広場整備基金として 3,000 万円の予算措置がされた。

答 伊藤議員

道の駅についても議員から一般質問等で提言されているが、運営等で問題の所もあり慎重に検討されている現状にある。今農振除外が難しくまた工業団地の土地開発公社への償還が平成 32 年度までである。その後検討されるのではと思われる。

問（市民）

3 年前、広島県の県人会から福島県産品の風評被害払拭の応援として、コメ販売について市に話があった時、1 kg の袋でということで対処出来なかった経緯がある。他の自治体で取り組み大きな実績が上がり残念なことであった。常任委員会の所管事項にも農林業や商工観光とあり、議会としても対応する必要があるのでは。今度相馬で植樹祭がある。その時連絡があるかもしれない。取り次ぐのでよく検討して欲しい。

答 伊藤議員

話があった場合には、JA が主体になるかと思うので話をしてみる。

答 國分議員

議会としても JA、市当局と話をして行きたい。

問（市民）

10年後の本宮市の将来像とは工場等の誘致なのか。20年30年前はそうだったが、同じような考えで今後10年間やって行っていいのか。

昼間人口増やすだけでなく、定住人口を増やす定住環境を整備すべきだと思う。そのためには五百川駅前広場整備だけでなく、五百川駅を核とした地域開発を大きな柱として進めるべきだと思う。高倉には県営住宅、市営住宅があるが本宮市に入って来て五百川駅東側には何もない。

雇用の場が昔ほど必要な状態ではない。10年後の本宮市を考えたとき、何をやらなければならないか優先順位をつけ、平成31年度からスタートする新たな総合計画どのようなビジョンを載せていくか、議会も市民も議論して行かなくてはならないし、その計画の中に議会としても意見を入れて行かなくてはならないと思う。

答 伊藤議員

その通りだと思う。高倉に住宅があり、農業試験場がある。五百川駅を無人から有人にさせたり、五百川に橋をかけたりすれば、住宅は出来てくるだろうという考えもあったが、県に取り次ぐ機会がなかった。

定住人口を増やすにはある程度企業も貼り付けて行かなければと思う。物流関連会社が多く雇用対策に大きな期待ができないでいる。今後近隣自治体と連携を図り情報を発信しながら進めていくこととしている。

答 國分議員

10年後の人口は増えはしない。日本全体での人口が減少してきている。

将来1億2千万人から8千万人、3分の2位に減るだろうといわれている。本宮市の人口も必ず減ってくると思う。定住政策をしっかりとやって住んでもらえるようにしていかないと人口は増えないと思う。総合計画の中にしっかりと示した方針を示して行けるよう議会も一緒になってやっていかないとならない。

問（市民）

郡山市が60万都市をめざし周辺自治体と広域連携の集まりが開催されたとのニュースがあった。本宮市は参加しているのか。参加しているとすればどのような人が参加したのか。そうであれば今話にあった郡山との連絡道路などがスムーズに行くのかと思った。

答 渡辺議員

5月に郡山市議会の方から、広域連携についての講演会を行うから聴講どうですかという話があり、全議員が参加した。今月の22日には広島県の福山市

が6市2町で実際に広域連携を行っているということで福山市の部長と企画会社の人に来て、講演をするからという話があって、市の担当者と正副議長、希望議員が聴講してきている。広域行政組合と違って、ある一つの事業に対して取り組める所は連携してやろうと、参加に選択の自由があり、事業に対して2分の1位の補助もある。郡山市が中枢となってやることで、本宮市が郡山市と連携してやれるものがあるのかどうか、市当局で検討に入るところである。例えば医療関係や介護関係などである。南は鏡石町、天栄村まで、北は大玉村、本宮市、会津は猪苗代町まで、東は小野町、平田村、古殿町、浅川町までの15市町村が対象となっている。国が補助金を出して各自治体にやるよりは、国も財政的に厳しくなるので、大きな括りの中で事業を展開させるよう方向を切り替えていくということで、今後の検討事項である。

答 伊藤議員

昔、須賀川市、三春町、本宮市、大玉村を含めて50万都市にしたいんだという話の話を聞いたことがあるが、国で補助金等のこともあり、そういう策を示しているのではないかと思う。

問（市民）

市では歴史と文化のある街と言いながら、歴史資料館をみると展示する場所もなく倉庫に3分の2も入っている状況である。それに極めて駐車場が狭い。中央公民館とサンライズを10年後というなら移設し、資料館にして、駐車場を広くとれるような沢田の所に中央公民館とサンライズをつくれば、県の大会など大きな大会もできる。駐車場もあるインターも近い五百川駅も整備するとなればたいへん結構なことではないか。歴史資料館について今まで議会で質問した議員があまりいない。是非資料館を見て現状でいいのか将来どうすべきか考えて欲しい。

答 橋本議員

先般大玉村の議員との交流会があって、本宮と白沢が合併して同じような施設2つあるが本当に2つ欲しいか。大玉村でも欲しい施設があるなら、真ん中に大きいのを建ててもいいのではないかとの話があった。そうなれば空いた所に文化財の展示場を設置ということもある。10年後の構想ということで執行部に申し入れも出来ると思う。

問（市民）

天王壇古墳は県の指定になっているが私有地である。周囲が売却されたりすると入れなくなってしまう。近くに大玉村の古墳もあり土地を取得して資料館、駐車場をつくってもらえれば良いと思う。

問（市民）

五百川駅前広場の整備の話があるが、朝日会館から駅までの道路が狭く歩道がない。朝晩自転車や車の通行量が多く危険である。駅の構想も大事だが先ずは道路の拡幅整備が必要ではないか。

インター周辺の開発で道の駅はもちろんだが、アウトレットの誘致も考えてはどうか。宮城、栃木、茨城どこにもある。福島県にはない。原発事故等の暗いイメージある。人が集まる賑やかなイメージにするためにも考えてみては。国の復興支援を活用してやれば予算的にも可能ではないかと思う。農振除外出来ないと言っているが、今までかなりの面積を除外してきている。なぜインターの前が外れないのか。伊藤ハムの所1町歩くらい農振除外するようなのに疑問だ。物流の倉庫などの箱物をつくってもしょうがない。商業施設なら雇用も生まれるし風評の払拭にもなる。

答 國分議員

五百川駅までの道路について、本宮市はビール会社の前は市道だから拡幅したが、あそこは県道なので要望はしている。なかなか整備ができないでいる。

問（市民）

五百川駅前広場整備検討委員会の委員になっているが、報告書をあげることになる。駅前広場に特筆すべきだが、その中に歩行者の安全確保についてということで、必ず入れるよう検討委員会で努力をしていきたい。

答 伊藤議員

ずっと前から出ている。前に県の事業に手を挙げて10億程の予算でその整備も含めて事業計画をあげたがダメだった。それ以来話が来ていない。道路を付替え線路沿いにもっていく構想だった。

アウトレットの件だが我々も考えている。緊急病院もどうかといういろいろ模索しながら検討している。あそこの土地の利用は個人で入ろうと思っても市で枠かけているので入れない。農振除外より市の計画上一般的には使えない。いいアイデアを出して頂いたので今後検討して行きたい。

問（市民）

五百川駅前については検討委員会ができているので委員の方にお任せするが、駅東からアサヒビールまで真っ直ぐの道路ができるわけだった。都市計画道路ということであった。20年位前か。1本できていれば様変わりしていた。出来なかったのは郡山市とのパイプがなかったからと思う。あの計画が自然消滅してしまった。道路は地域を活性化させるために重要な意味がある。駅までの県道は非常に危険である。落差があり学生等が落ちたら大変である。

県の方に要望して頂きたい。

答 伊藤議員

私、担当委員会なので早急に対応して行きたい。

問 (市民)

なぜ郡山とマッチングが出来なかったのかと疑問をもつ訳だが、郡山市も今広域圏の中で構想を打ち出しているわけだからいい機会に捉えて市の方からも一応、高倉の住民が踏切わたることなく五百川駅に来られる。駅東側の住民がどれ程助かるか踏まえて郡山市とのパイプはもって欲しい。

問 (市民)

関連して、郡山市とのパイプだがあそこの高倉から本宮に抜ける橋は郡山と本宮で折半してつくった。こちらの土地は埋まっていない。本宮がやる気があるかどうかである。郡山は市営住宅をつくったし、県営住宅もある。駅に真っ直ぐの道路を、鉄道を越えて駅をぐるっと回って長山にある日立の所に繋ぐ計画があった。郡山市とのパイプである橋はできた。あとは本宮がやらないのだ。

答 伊藤議員

確か構想もでき図面もできていた。最終的に私の記憶では JR からダメと言われた。線路の上を通すのも下を通すのもテロ対応で厳しくダメだったと後から話を聞いた。

問 (市民)

それ以降オーバーも地下もあるのだからそれは言い訳だ。

答 伊藤議員

当時はそういう話だった。

問 (市民)

JR も民営化であそこの無人駅であってみんな地域住民のボランティア頼りである。アサヒビールに来てあそこにオシッコはするわ、嘔吐するわ、挙句の果ては大騒ぎ。タバコは吸い放題喫煙所設けてくれと言えば火事とかでダメだと言う話、一斗缶一つ置けばいい話なのにそれさえやらない。民営の会社がなんだということになる。吸い殻拾うのも何もみな地域住民である。たまにはソニーとかグンゼの社員の方が、ボランティアで月に一、二度拾っているけれど、毎日目立つのでひろうのは大変である。JR に言おうかと思っている。何で胡坐をかいているんだと。喫煙所を設けてください。そうでなければ毎日朝 7 時から 9 時まで 2 時間職員を配置しなさいよと。そうすればこの実態が分かる。時間ぎりぎりに飛び込んで来るなど本当に危険である。JR 民営化なりに方策を立てなくてはおかしい。

問（市民）

高校の PTA の研究会を三春の方で行った際に、復興事業ということで三春の工業団地の方にできた県の PR 館（コミュタン福島）をはじめて視察した。サンライズもとみやみみたいな施設と会社関係と震災関係の PR、復興の紹介がされていた。その際に気付いたが、本宮管内も中通りで三春よりむしろ本宮、郡山の方が被害は大きかったし、そういう施設を国から復興事業としてできたんじゃないかなと。いいものなんだけど見て憤慨してきた。市でも施設を集約して大きいものをつくって、歴史資料館とか観光を含めた中での展開ができるのでは。仕事の関係で以前各県を歩きあちらこちらをいろいろ見た関係で、本宮市の観光って何なの、蛇ノ鼻、塩の崎の桜などあるけれども本当に観光の PR の材料になるのかなと改めて感じる。他であればお城があったりするが、季節的に花があるだけでは三春や郡山の方が力がある。とすれば皆さんから話のあった箱物でインター周辺にアウトレットなどの意見になるのかなと思う。

答 國分議員

重複しているので要望として受けた。

問（市民）

議会だよりで何年前、いわき市で講演会があってこれから人口が減少するから税収が少なくなるのだと。今ある建物を有効活用して行かなければ市町村はますます苦しくなるということを議員は研修してきたわけで、本宮の 10 年計画というのは人口が増えることを想定して計画を立てているのか。でも先ほどの報告だと人口は減ると言った。この 10 年の本宮で立てた計画、10 年の構想も出来ないのであれば税収減ると思う。そうすると本当に本宮市が昔報道されていたように、苦しいことになるのではないのかなと心配している。年金生活者なので税金あまり払っていないので大きなことは言えないが、お金のかからないように提案する。10 年後今の中学生が 25 歳になる。本宮市の 10 年後を本当に支えるのは今の中学生だと思う。今の中学生を立派に育てることが本宮が立派になることだと思う。教育にいろいろお金をかけなくていいから一つだけやればいい。挨拶を元気にできる子供。これだけやればこの中学生の子供は 20、25 歳くらいになっても本宮が好きになってくれるのでは。隣のおじちゃん好きで挨拶する子供は郡山になんか行かないでずっとここにいてくれると思う。総理大臣が一番やりたがっているのは、女子力の活用である。本宮でも女子力の活用をやって女の人がここがいいと言えば男は絶対ついて来る。議員が何か提案とかするときには女の人々の活用をすれば 10 年後お金かけずにすむのでは。税金払っていないので医療費がかからないよ

う健康で頑張るので、お金がかからないようにお願いしたい。

答 國分委員

10年前合併して経った。今、交付税が一本化になり、これから10年ほとんど国の財政も厳しい中で、本宮の財政もどんどん厳しくなると思う。あるものを活用するという話である。今の本宮の公共施設を維持していくのには年間19億かかるということで、予算は確保されていなく、財政健全化計画にも入っていない。あくまでも財政健全化計画の中で進むので、これから我々議員と皆さんの話の中でやっていかないと、税収は厳しくなると思う。これからの本宮市の計画の中では人口は現状維持で3万人を超えているが、2万8千人とか2万5千人に下がったときはどうするかということは、議員と皆さんで話しながら進めて行かないとなかなか厳しくなるのではないかと思う。

答 伊藤議員

今10年後の先を見た時、財政も圧迫してくる。当然これは市の方では15年先を見据えた総合計画なので、これはその時点になったら15年ではなく、その都度見直して行かなくてはならない部分というのは当然あるので、我々も気を付けて皆さんと話が出来る体制を取りながら進めていくという考えでいる。

問 (市民)

五百川駅前の道路の件で話あったが、踏切から小沼屋さんまでの所で今年の春ころ自転車が落ちていたのを見た。事例を拾うといくつか出てくると思うので調べて危険だということを認識して欲しい。朝日会館の所も危険だがこちらも危険だ。駅の方からベニマルの方に歩く人増えている。朝晩見えなく危険である。農協の所まで歩道がない。大きな事故でもない整備しないのかと言われる。

問 (市民)

会津街道も同じで車自由に入れるようになったから歩道がないということで危険である。通学路になっているので併せてお願いしたい。

問 (市民)

ソレイユで高齢者が井戸端会議をやっている中で、盛り上がった際に出た話なのだが、その中で女子大を定年退職した教授がいて、最近大玉村で藍染めをつくっていて話題になった。本宮でもなんかやりたいとその元教授が言っている。それをどこにもって行ったらいいかという話があるみたいで、そこで売っている産直の農家のおばさんにもっていきこうとしているみたいだが、荷が重いような気がするので、そういう受け皿になるような所が市にはない

のかなと。

農産物か食品かなんかで本宮として特色のあるものを作りたいと考えているようだ。

答 國分議員

今答えを出せないなので、議会への要望として伺っておいて、あとで報告させてもらう。

問（市民）

救急車が白沢の方から来るがキタセキの前で止まって 30 分 40 分いる。いろいろ問題があるのだと思うがそんなことやっていたら救急車の意味がないと思う。病院をどこにするか多分やっているんだと思うが来る途中にやればいい。何で 30 分 40 分もかかっているのか。救急車がなにやっているんだと思う。

問（市民）

救急車が着いて直ぐに病院を確保する。受け入れ出来る病院があればいいが、ないと次から次へと時間を費やして、40 分 50 分かかってしまうのが現状と、携わっている者に聞いた。受け入れ先が決まらないうちは動けないそうだ。

問（市民）

そうなんだろうと思うが何か方法がないのかなと。出来るだけ早く病院に搬送出来ないかと思う。特にこれから高齢化社会になって重要になってくる。

答 伊藤議員

広域行政組合の方も一生懸命やっているが、どちらに行くか決まらないと仕方がないのでは。

問（市民）

乗っている人の身になっても止まっているのが長すぎると思う。

答 伊藤議員

大きな緊急病院の必要性を感じる。

答 橋本議員

インター周辺は一種農地でなかなか農振が外れないという話だったが、一番いいのは病院とかだったらすぐ外れるという話である。ただ来てくれる病院があるかということ。

答 伊藤議員

ただここは谷病院の許可がないと出来ないという縛りがある。我々もそういう縛りがあることは知らなかった。個人医院は別として病院は縛りがあるとのこと。

答 國分議員

広域行政組合の方には議員も出ているので、この話を出してもらいたい。

これで意見交換を閉てよいか諮り、閉める。

◇ 橋本議員 閉会挨拶

貴重なご意見を皆さんからいただいた。これを持ち帰って、議会の方で精査して、市の方に伝える問題、また我々議員で解決する問題、その辺を区別しながら来年の 3 月末になるかも知れないが、議会だよりに掲載させていただきたい。

【午後 8 時 12 分閉会】